

湯村温泉コース

平安時代(848年)、慈覚(じかく)大師によって開湯されたと伝えられる湯村温泉。98℃の高温の湯が大量に湧出する温泉は、地下深部で温められた地下水が湯村断層に沿って上昇し、自然に湧き出したものです。長い歴史の中で、この「大地の恵み」に集い、それをうまく生活の一部に取り入れながら、湯村の人々は暮らしてきました。

【湯村温泉の泉質】

ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩泉(低張性・中性・高温泉)、無色透明。

【浴用における主な効能】

神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・関節のこわばり・うちみ・くじき・慢性消化器病・疾病・冷え性・病後回復期・疲労回復・健康増進・きりきず・やけど・慢性皮膚病・虚弱体質・慢性婦人病・動脈硬化症など。



初版:2012.10.29
最終更新日:2024.3.11

美しい自然を守るため、石や植物は観察するだけにしましょう。危険な場所や立ち入り禁止の場所には入らないようにしてください。持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ!!

基本コース

スタート *時間は徒歩

- 全但バスターミナル
- 3分 ↓ 約100m
- ①薬師堂
- 3分 ↓ 約100m
- ②株湯
- 2分 ↓ 約50m
- ③荒湯
- 3分 ↓ 約100m
- ④杜氏館
- 4分 ↓ 約150m
- ⑤夢千代館
- 3分 ↓ 約100m
- ⑥薬師湯
- 20分 ↓ 約600m
- ⑦八幡神社
- 3分 ↓ 約100m
- ⑧リフレッシュパークゆむら
- 4分 ↓ 約150m
- 全但バスターミナル

総移動時間45分
全行程約1.45km

隠れハートを探せ!
湯村温泉街の中にあるハートマークを探して記念品をもらおう!詳しくは湯村温泉観光協会まで!
TEL:0796-92-2000



湯村全体の源泉湧出量は1分間に約2,300リットル!豊富な温泉を約400戸の家庭に配湯しています。

アオギリの湯(足湯)
歩いて疲れたら足湯につかる

湯村温泉観光協会
ガイドさんいます!

※春來川沿いの散歩道には、湯村ゆかりの芸人や文化人の手形があります。



詳しくはジオコラム2へ



クイズ!
湯村にはなぜ高温の温泉が湧いているの?
正解はコラム①を読んでね!

名産 但馬牛を味わおう
レストラン 楓

⑧リフレッシュパークゆむら

犬・猫専用のペット休憩施設 宿泊もOK
0796-92-3010



凡例

- トイレ
- 駐車場
- 食事
- 説明看板
- 道順
- 源泉地帯
- 外湯施設
- 足湯
- 足元注意
- 交通安全確認
- 基本コース
- 歩道



みどころいっぱい湯村温泉

① 薬師堂



薬師如来と湯村温泉開祖である慈覚(じかく)大師をお奉りしたお堂。貞観7年(875)に薬師如来を安置したことが始まりと言われていいます。病気を治す仏様として知られる薬師如来は、湯治客などからも信仰されました。天井には、昔の湯村の様子を伝える『湯村八景』が描かれています。境内には松尾芭蕉の句碑があります。

② 株湯



湯村温泉の泉源の一つで、98℃の温泉が毎分300リットル湧出しています。ここにはかつて薬師湯がありましたが、平成20年に移転しました。現在、この温泉は薬師湯やリフレッシュパークゆむらなどに配湯されています。周辺は「湯村温泉ポケットパーク」として、観光客や地域の人々の憩いの場になっています。

③ 荒湯



湯村温泉の中心にある泉源で、98℃の温泉が毎分470リットル自然湧出しています。この「荒湯」が湯村温泉の源であり、もうもうと湯けむりが立ち上る様子は圧巻です。周辺の地面は地下の湯により温められており、素手では触ってられないほど熱い場所もあります。

③ 荒湯 番外：荒湯たまご



源泉「荒湯」は一般に開放されており、ゆで玉子を作ったり、野菜を湯がいたりすることができます。特に湯に13分ほどつけてできるゆで玉子「荒湯たまご」は、誰でも気軽に楽しむことができます。湯村の温泉には炭酸水素ナトリウム(重曹)が含まれており、野菜を湯がくと灰汁(あく)が抜ける効果もあります。

④ 杜氏館



但馬杜氏に関する資料や酒造りに使われた道具が展示されています。雪が深く積雪期に農業や漁業ができなかったこの地方では、男たちは出稼ぎとして、全国各地に酒造りに出かけました。杜氏とは酒造りの最高責任者のことです。但馬人の気質と長年の経験が但馬杜氏を生み出し、培われた知識と技術は、今も酒造りに生かされています。

⑤ 夢千代館



昭和にタイムスリップしたような感覚を味わえる夢千代館は、昭和に大ヒットしたドラマ『夢千代日記』をテーマにした博覧館です。人々が寄り添いながらもたくましく生きてきた、懐かしく、心温まる昭和の時代が再現されています。(問)0796-99-2300

⑥ 薬師湯



薬師湯は露天風呂やサウナも完備された源泉かけ流しの共同浴場。薬師湯の歴史は古く、地元の人や多くの人々に愛されてきました。無色透明の湯は石けんの泡立ちもよく、美人の湯として知られています。現在、ペルチェ素子を使った温度差発電の実験運用が行われています。(問)0796-92-1081(※15日定休。ただし休館日が木、土、日、祝日と重なった場合は翌平日休み)

⑦ 八幡神社



八幡神社は人命守護・勝運厄除の守護神として古来より信仰を集めています。境内にある五輪の石塔は、湯村付近で採れる岩を利用して作られており、地元民からは『イボ神様』として親しまれています。「イボ」でお悩みの方は、この石塔と「イボ」を割り箸でつなぎ、「イボイボ渡れ、この橋渡れ」と三度唱えるといかなる「イボ」も消えてなくなるとか…。

⑧ リフレッシュパークゆむら



リフレッシュパークゆむらは、湯村温泉の源泉を利用した自然の中の温泉公園です。屋内、露天に繰り広げられるさまざまな浴場と、25メートルの室内温水プール、幼児用プールを完備しています。大地の恵み温泉を心置きなく満喫することができます。(問)0796-92-2002(木曜定休・祝日は営業)

番外：中町通り



湯村温泉の商店街である中町通り沿いには、数多くの源泉があります。理髪店では温泉を洗髪に使っており、頭皮にやさしい洗髪として人気があります。温泉熱を利用した乾燥室を設けている家もあり、温泉を暮らしの中で活用している地域です。

ジオコラム①

湯村に温泉が湧いた理由

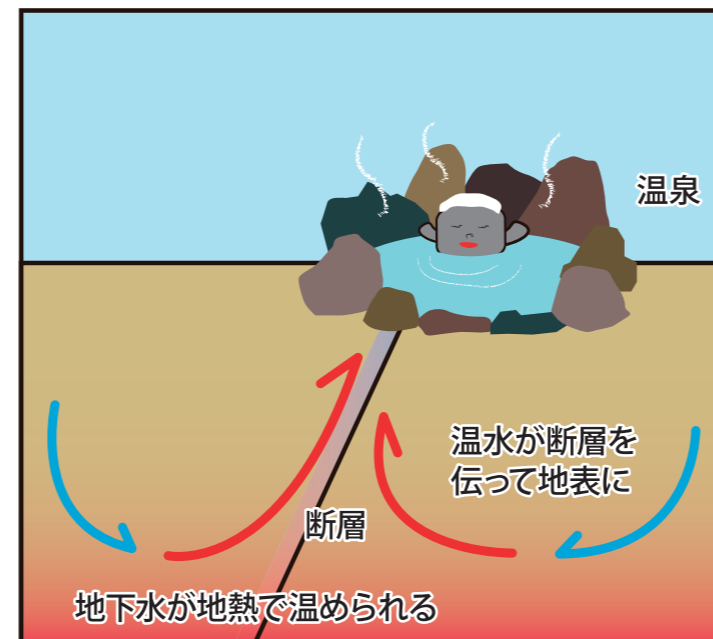
～火山がないのにどうして温泉が湧くの?～

温泉は、地下に染み込んだ水が大地の熱で温められ地表に湧いたものです。地下は近くに火山がなくても、地球内部の熱により深くなればなるほど温度が上昇し、地下10kmでは約300～400℃という高温になっています。このような高温の地下に水がさらされると、地下水は湯になります。

温泉が湧くのに重要なのが、①大量の水が高温になる、②地表まで速やかに移動する、③移動中に低温の水が混ざらない、の3つの条件です。これらを満たすために大きな役割を果たしているのが、地下深くまで途切れることなく続く岩盤と、熱源まで続く地下の通り道「断層」です。湯村の周辺は地下深くまで続く花崗岩に、「湯村断層」という大きな断層が通っており、それに沿って高温の湯が絶えず湧き出しています。



荒湯



ジオコラム②

温泉の活用今昔物語

豊富な湯量を誇る湯村温泉は、湯治場として古くから多くの人々が集まりました。明治25年には、地域産業である但馬牛の競り場「但馬家畜市場」が設置され、多くの優秀な但馬牛がここから全国へ出荷されました。温泉は地域の共有財産として広く開放され、地元の人々は豊富な湯を、入浴だけでなく、炊事、洗いの、洗濯など、幅広く利用してきました。



発電装置(薬師湯)

現在、湯村温泉では、従来からの温泉利用に加え、温泉を活用した様々な取り組みを進めています。その中で特に注目されているのが、地熱発電とは異なる「ペルチェ素子」を使った温度差発電で、薬師湯において実験運用が行われています。薬師湯のカウンターでは、この方法で作った電気を携帯電話の充電用に開放しています。湯村温泉では温泉を使った化粧水なども開発、販売しています。